



社団法人 愛媛県建築士会

<http://homepage3.nifty.com/ehime-shikai/>

とびだせ建築士
第7回造園勉強会
情報・広報委員会座談会報告



1

最近思うこと

副会長 酒井純孝 ……………①

2

寄稿

古典の眠気

松山支部 玉乃井公和 ……………②

3

委員会報告

旧岡井家住宅 副委員長 若松一心 ……………④

建築文化市民講座 in 伊予市「長州大工の作品めぐり」

文化財・まちづくり委員 石丸真智子 ……………⑤

青年委員会 活動報告と事業計画 委員長 森川晴喜 ……………⑥

とびだせ建築士 in 東予 建築士会 青年部 ……………⑦

とびだせ建築士に参加して(中予) 松山支部 河合優志 ……………⑧

とびだせ建築士 in 南予 西予支部 山内真一 ……………⑨

建築士新規免許登録セミナー 副委員長 兵頭岩見 ……………⑩

第7回造園勉強会報告 女性委員 大上恵子 ……………⑪

第7回造園勉強会に参加して 松山支部 丹生多美 ……………⑫

情報・広報委員会座談会報告 委員長 井関克徳 ……………⑬

4

けんちくの輪

A-010 今治支部 青陽孝昭 ……………⑭

建築士会ありがとう! 松山支部 太田陽子 ……………⑮

5

お知らせ

県政発足記念日知事表彰に田中羊子さん受賞 事務局 ……………⑯

建築士会会費を口座振替されている会員様へ重要なお知らせ 事務局 ……………⑯

平成25年度前期専攻建築士制度(新規)申請案内 事務局 ……………⑰

平成25年度建築士会関係行事予定 ……………⑱

平成25年度いしづち原稿締切日 ……………⑲

編集後記 情報・広報委員 ……………⑲



【表紙の写真】

題 : 五百年ひょうたん桜
撮影者: 井関 克徳

表紙の写真について

昨年やっと出会えた、高知県仁淀川町桜地区にある樹齢500年余りの桜の老木・古木として全国にも名が知られている「ひょうたん桜」。

彼岸桜のつぼみが瓢箪に似ていることから、「ひょうたん桜」と呼ばれています。雄大で生きる力を毎春、私達に教えてくれる神のような存在の桜です。

いしづち4月号が皆様のお手元に届く頃は満開の状態になっていることでしょう。

【表紙の募集について】

本誌の表紙の写真を随時募集しています。

愛媛の建築、又は建築と風土、町並み、設計作品などの写真を下記の要領で事務局にお届け下さい。

審査の上、採用されれば掲載させていただきます。

また、サイズの調整やトリミングをさせて頂く事をご了承ください。

期 間: 随時

様 式: デジカメデータ
(JPEG)

サイズ他: 自由

応募方法: 持参かメール添付
支部名、氏名、題名
コメント※応募作品の著作権は募集者に移る
条件となります。

建築文化市民講座 in 伊予市 「長州大工の作品めぐり」

文化財・まちづくり委員会 石丸 真智子



永田三島神社本殿



永田三島神社本殿腰板の彫刻（牛若丸と弁慶）



山吹御前



山吹御前本殿



山吹姫の墓



委員会メンバー

2月11日、柔らかい日差しと冷たい空気が心地よい昼下がり、盛景寺の少しきつい階段を息を切らしながら、次々と参加者が上ってきました。委員長が用意した資料60部が足りなくなり、うれしい悲鳴です。共催の伊予市教育委員会のご尽力で、建築士会員の他、史談会の方々を含む多数の伊予市の市民の方が盛景寺本堂に集まりました。

本田会長、伊予市教育委員会の曾我部さんのあいさつの後、盛景寺の住職さんが屋根の吹き替え工事の際に見つかった木の切れ端（建築時の大工さんの手遊びの痕跡が残る）を披露しながら、お寺の歴史などを話されました。盛景寺本堂は1896年に建築されて以降117年間、住職さんや地域の人々の誇りであり続け、これからも大切に守られていく、幸せな建築なのだと感じました。

その後、花岡委員長により、長州大工の説明や長州大工による建物の紹介がありました。

長州大工は江戸後期から、明治大正にかけて各地に出稼ぎし、神社・寺院などの建築普請にあたった周防大島出身の大工職人たちで、その作風は過剰な斗拱（ときょう）やリアルで派手な彫刻が特徴です。

県内では71の建物が各地で確認されていますが、中でも特出して多いのが門井友祐の手によるものです。（今回見学した3つの建築も門井友祐作）…以下「長州大工」についての説明は省略。（詳しく知りたい方は本の購入をお勧めします。）文化財まちづくり委員一年生の私は一般参加者と同レベルで説

明を聞き、見学していました。

花岡委員長のわかりやすい説明の後、参加者は思い思いに欄間の彫刻などをカメラに収め、外に出て説明を受けながら本堂を見学して、次の見学地「永田三島神社」に徒歩で向かいました。

永田三島神社もいたるところびっしりと立派な彫刻があり、なかでも腰板の牛若丸と弁慶など物語の彫刻が参加者を楽しませていました。

次に車で移動して、「山吹御前」へ。山のふもとにひっそり佇む…と思いきや、見事な彫刻の本殿が向拝（向拝柱の木鼻の龍もすごい）の後ろにありました。

見学が終わるころ、参加者の史談会の方が手招きしてくれ、近くにある「山吹姫の墓」（そう伝わる所は全国に5か所くらいあるとか…）の前で山吹姫（木曾義仲の悲運の愛妾）伝説を披露してくださいました。

長州大工の手がけたものは工期に10年をかけたものも多いそうです。10年も工事していれば、大工たちはもうすっかり地元とも溶け込んだことでしょう。（実際、土地の女性と結婚した大工もいたそうです。）また、その仕事ぶりを見に来て、「次はうちの村で…」と依頼も舞い込んだと想像されます。作り手はじっくりと心をこめて仕事をし、発注者はゆっくりとそれを見守る…（過剰なまでの派手な彫刻は依頼者を十分満足させたことでしょう。）そんな時間の流れに思いをはせながら、温かい気持ちになれた見学会でした。



会長あいさつ



盛景寺住職さんあいさつ



盛景寺本堂内部の彫刻



曾我部氏あいさつ



花岡委員長の説明



盛景寺本堂向拝の彫刻

青年委員会 活動報告と事業計画

委員長 森川 晴喜

青年委員長として2年目を迎えました。1年目はあっという間に過ぎ、みなさんに迷惑掛けっぱなしだったと反省しています。

平成24年度の青年委員会は、単県事業として青年委員会総会から始まり、計6回の青年委員会を実施しました。9月には交流スポーツ大会を伊予市にて実施。11月と2月に地域実践活動として建築科高校生を対象とした『とびだせ建築士』を行っています。今年は例年の中予・南予の2回に加えて、東予地区東予高校も参加していただき3回実施することが出来ました。学校との関係を通じて未来の建築士にわれわれの思いが伝わるよう活動していきたいと思います。1月には会員拡大のための新規登録者セミナー&懇親会。2月には、『森林の未来は木造建築にあり』で技術講演会を行っています。

県外事業として中四国ブロック山口大会への参加。若手建築志(士)交流会 in 香川への参加。全国大会いばらき大会前日に建築士フォーラムへ参加。また、今年の全国大会では、実践活動報告会にて今治支部の青陽さんが中四国ブロックの代表の一人として発表し、その実践活動内容が奨励賞を頂きました。

平成25年度の事業計画ですが、継続事業を行いつつ、今年度は9月に行われる若手建築志(士)の集い in 愛媛の開催に向け活動をしています。中四国ブロックの若手100名余りが集い交流会を実施します。また、今年度は愛媛に関わる建築家 丹下健三、松村正恒の100周年にあたる年になり、青年委員会としても活動していく予定です。

これからも会員みなさまにとって、よりよい青年委員会活動となりますよう努力いたします。

とびだせ建築士 in 東予

建築士会 青年部



ワークショップ



ワークショップ



ワークショップ

日 時：2月14日

場 所：東予高校

参加者：建築・土木科1、2年

森川委員長・青陽孝昭・長井信彦・石村卓也
矢野栄治

東予地区のとびだせ建築士を東予高校にて行いました。当日は、青陽さんの「建築と私」、長井さんの「建築について思うこと」について講演を頂きました。青陽さんは現在進めている建築現場について詳しく説明していただき、長井さんは、今まで設計してきた現場で

のお施主様との接し方など豊富な経験等を聞かせてくれました。その後全体を5班に分け「どのようなスタンスで建築・土木を学ぶべきか？」という題でワークショップをしました。そこで生徒からは建築についての疑問など数多くの質問が出ました。最後に2年生の班には話し合ったことを発表してもらいました。日頃高校生とこのような場を持つことが出来ないので、今回生徒たちが建築について思っている様々な話が聞けたのでよかったですと思います。



成果発表



長井さん



開会挨拶



ワークショップ

とびだせ建築士に参加して

委員会報告

3

松山支部 河合 優志

11月5日、歴史的建築物としての庁舎である、松山地方気象台を松山工業・聖稜高校の両建築科の生徒さんを招いて見学させていただきました。

私事で恐縮ですが、私自身が、昭和62年に松工の建築科を卒業、今回の生徒さん達は遠い後輩にあたります。重ねて私の息子が現在、松工生（残念ながら建築科ではありませんが）という事で、正に自分の子供達の世代が、今回、歴史的建築物を目の当たりにしてどのような関心を示すのか非常に興味深く楽しみに参加させていただきました。

現在の松山地方気象台の庁舎が松山市北持田に建築されたのは、昭和3年との事。

太平洋戦争の空襲にも耐え、激動の昭和、悠久の時を経て、現在も同じ佇まいでこの場所で現役の庁舎として活用されているという事自体に、非常に感慨深い気持ちになります。

建物のそこかしこ、意匠・装飾性の高いディテールが散りばめられています。設計事務所として独立する前、建設会社で現場監督をしていた私は、

“こんな装飾性の高い複雑な作業を、職方さん達は不平・不満を言わずに素直に作業してくれたのかな？”はたまた

“職方さん達からしたら、相当手間暇のかかる現場だったに違いないなあ”など、余計な、本当にくだらない（笑）思いが頭をよぎります。

…こんな事は、同じ場所・空間にいた高校生達は絶対に感じなかったと思います。現場の実務の垢が着きすぎてしまった自分が実に滑稽に感じてしまいました。

イベントに関しては、聖稜高校の尾崎先生がおっしゃっていた通り、愛媛建築住宅センターの西森さん、石崎さんの事前準備・充実

したレジメの配布、ガイドが素晴らしく、高校の生徒さん達も非常に満足されていたのを肌で実感できました。愛媛建築住宅センターのお二人に関しては、日々非常に御多忙の中、ここまでの準備、段取り、本当にお疲れ様でした。

特に印象に残ったのが、松山地方気象台にまつわる数々のトリビア的な豆知識。

- ・戦時中、夜間の空襲対策として建物を黒塗りにしてカモフラージュしていた事。
- ・戦時中気象情報は、軍事機密だった事。
- ・かつて存在した正面の丸い時計が、よく狂い、気象予報より時計が遅れていた事で、度々苦情を受けていた事などなど。

つつい建物ばかりに気が取られがちですが、生徒さん達を飽きさせない憎い？演出も大変良かったと思います。

かつて私の高校時代、時代はバブル前夜で建築科を卒業しても就職の非常に厳しい環境にあり、多くの仲間が袂を分かち畑違いの職種へ進路変更しました。建築の道を選んだのは全体の三割前後程度だったと記憶しています。折しも現在も空白の20年と呼ばれる就職氷河期を迎えています。今回参加下さった生徒さんのうち、出来るだけ多くの方が、我々の同業者となり近い将来、仕事で御一緒できればと痛切に願います。建築士の免許を取られた暁には是非、建築士会にも入会下さい。

最後になりましたが、松山地方気象台の佐伯様、松井様、松山工業高校の堀部先生、澤田先生、聖稜高校の尾崎先生に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

この度はお世話になり、大変ありがとうございました。



松山支部青年委員会 西森副委員長のあいさつ



県青年委員会 森川委員長のあいさつ



建物の歴史について説明している様子



気象台の計測器について説明を受けている様子



屋上で気象台職員の方から説明していただく様子



高校生からお礼の言葉をいただきました

とびだせ建築士 in 南予

西予支部 山内 真一

2/10、今年も恒例の「とびだせ建築士」を開催しました！今年の会場は内子町です。

概要：内子町に残る八日市及び護国地区は江戸時代に大洲藩領となり和紙と木蟬で栄えました。昭和50年代に全国に先駆けて伝統的家屋が立ち並ぶ古い町並みを保存する機運が高まり、昭和57年には重要伝統的建造物保存地区に指定されました。内子座をはじめ古い町並みの魅力、装飾を凝らした懸魚(げぎょ)、黄味を帯びた大壁や海鼠(なまこ)壁、弁柄色の格子など特徴的な街並みを体験し、先人の伝統と技術を継承してほしいとの思いより、今回の内子町並み見学を企画いたしました。



JR内子駅から町並み散策の出発地点まで、レトロバスの「ちゃがまる」で移動です。イギリス製の感じの良いバスでした！



木蟬で栄えた町、内子町。

現在、重要伝統的建造物保存地区に指定されている町並みにある、上芳我邸の内部や構造の見学をしました。耐震補強も施されていて、所々鉄骨が見えます。



そして、午後から図書館の改修現場などを見学し、内子といえば「内子座」、数年前に改修され現在は色々なイベントに活用されているそうです。



綺麗な舞台、その当時そのままの樹席や花道、回り舞台やセリ。建物も見ごたえもあり非常にいい建築物でした。

南予で唯一建築科のある吉田高校。

また来年も僕たちが企画したイベントに参加してくれる事を期待しています！

頑張れ！未来の建築士！！

第7回造園勉強会報告

女性委員会 大上 恵子

日 時：平成24年11月25日(日)
 13:00～15:30
 場 所：保国寺庭園（西条市中野）
 久門邸庭園（西条市中野）
 テー マ：古庭園について
 参加者数：12名（会員11名、一般参加者1名）
 講 師：(株)愛媛庭園・建設マスター
 大上 修二氏

禅師座像」が安置されています。他にも沢山貴重な品々があり自由に拝観できたのも、御住職様のご好意でした。お礼を申し上げます。又この度の勉強会にご尽力いただきました、西条支部長 宇佐美金正様・今治支部 石丸真智子様 ありがとうございました。

久門邸庭園

- 江戸初期に作庭
- 県指定重要文化財（史跡）
- 屋敷の豪壮さにふさわしい格式のある庭
枯山水庭園

久門家は豪壮な農家で代々庄屋を勤めた旧家である。

庭は書院の前に所在し、三方を土堀で囲まれ右に御成り門を備えた区画の中に、築山と枯滝を配した枯山水庭です。築山の中央部が座敷の縁の方に向かっておだやかに伸び、出島となっているのもこの庭の特色。

久門邸は「御成り道・御成り門」があり、庄屋の風格ある面影を残しており歴史を感じました。庭共々建物を後世に残すよう保存していただきたい。

久門様には沢山の貴重な品々の説明をしていただきまして、お礼を申し上げます。

晩秋のころとは思えない程暖かく、天候に恵まれた勉強会となりました。

保国寺庭園

- 室町時代中期の作風を残している四国最古の庭園
- 日本庭園史上重要で国名勝の文化財庭園
- 美しい石垣で地方独特の景観を漂わす庭（境内の土留めの「矢羽返し」と称される、野面石積・茅葺屋根本堂の犬走りには棒状敷石の雨落ち）

耳障りな音などしない閑散とした本堂の客間より庭園を鑑賞させていただきました。参加された皆様は現状を見て、何を感じ・思い・連想や空想をして時を過ごしていただけたのでしょうか。

保国寺の本堂には重要文化財の「木造仏通



客間から眺めた庭



久門邸正面・右の坂が「御成り道」



久門様の説明を受ける



近在の民家に見る「野面石積」



貴重な品々



御成り門



広々とした境内を鑑賞



鑑賞風景



上座から眺めた庭



本堂前で参加者



客間から眺めた庭



貴重な品々の説明を受ける

第7回造園勉強会に参加して

松山支部 丹生 多美

以前より庭園及び樹木の知識を深めたいと思っていた中で、「古庭園」をテーマとした建築士会女性委員会主催の勉強会が開催されることということで平成24年11月25日に第7回造園勉強会に参加した。

西条市中野にある「保国寺庭園」と「久門邸庭園」の2カ所を愛媛庭園の大上氏の解説に基づきながら見学してまわった。

最初に見学した「保国寺（ほうこくじ）庭園」は作庭が室町時代前期（1441年頃）とされており、池泉回遊式庭園で国指定名勝となっていると同時に四国最古の庭園でもある。

伊予の青石で造られた石庭は彫刻家イサム・ノグチ氏も大いに影響を受けたとの説明があった。

石庭は人力で動かせる程の大きさの青石を組み合わせることで、切り立つ山と滝と亀島を表現しているように見て取ることができる。石柱は垂直が強調され、空間に奥行きができるように組まれていた。ただ単に石を垂直に組むだけでなく水平に組まれた石と相まって垂直さが強調されているところが面白いと思った。また、庭の木々に落葉樹は殆どなく、常緑樹で構成されていた。訪れたのは11月ということもあって、「庭園＝紅葉の美しさ」とばかり思っていたので、当時の庭の作り方を改めて意識させられた。

次に見学した「久門邸庭園」は1642年久門政武がこの場所に屋敷を築き庄屋となった時に作庭された江戸時代初期のもので、当時の日本の住まいの庭の例とされている。庭の形式は築山式枯山水で、築山の傾斜を活かして石組みにより枯滝が表現されていた。始めに久門邸の控間より庭を觀賞し、その後実際に庭に出て鑑賞したが、築山によっ

て庭に立体感があるため、鑑賞する視点によって印象が大きく変わった。今後庭を觀賞したり、作庭に関わるときにはこの経験を生かしていきたい。

今回2カ所の庭園を見学して、当時の庭には強く意味が込められていることを実感した。

特に石組みは仏教の世界観を庭の中に表現したり、中国道教の影響を受けて山や亀を石組みで表現することで繁栄や長寿を願っており、今回初めてそのような視点で庭を觀賞することができた。これを機会にまた新しい観点で庭園を觀賞し、知識を深めていきたい。



保国寺 石庭



久門邸 庭園